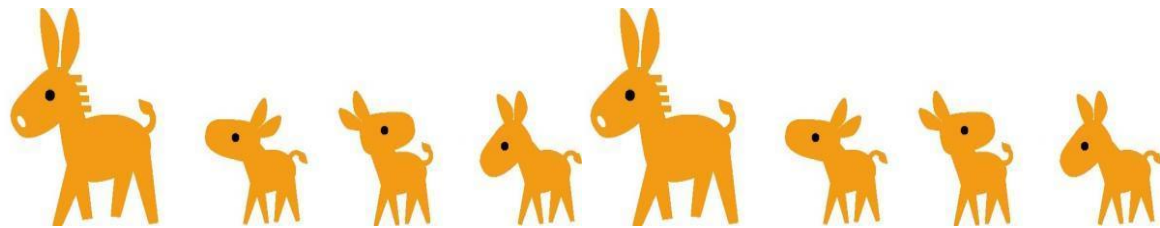


# 本人の声



買い物に行って、お金を支払うとき通常のレジは、お金を出すときになかなか支払いしにくい。機械のレジだと財布にある小銭をザッと入れたら、必要な金額をとってくれるから、楽。

70代男性

もの忘れのことを子どもからも言われ、不安。でもまだまだこの家で頑張りたい。

80代女性

車に乗りたい。免許を返したくない。

70代 男性

もの忘れが増えたことは自分も感じている。だから、将棋でトレーニングしている。

90代男性

頭の中がぐちゃぐちゃ。あまり考えないほうがいいと思うが、不安になる。みんなに迷惑をかけたくない。

70代 女性

一人でいるときは不安。自分がおかしい発言をしていないか、周りからどう思われているか不安。

80代 女性

日にちがわからなくなる。メモをするようにしている。でも、メモを見ても何のことか思い出せないことがある。悲しい。

80代 女性

認知症だからと言って、何もできなくなるわけじゃない。ボランティアも仕事もやりたい。

夫が仕事をしているときに手伝わないと思っても「せんでええ」と言われる。子どもたちにも「(手順)が違う」と言われることがある。それでも大変なことをしているから少しでも助けになればと思っている。

70代 女性

誰にでもは、自分が認知症であることを言いたくないんです。みんなに言うとな「あの人が・・・」と変なことを言う人もいるでしょう。

女性

子どもには(病気のことを)言っていないので、迷惑をかけたら怖い。

70代 女性

ここ(通所リハ)はね、叱られないからいいの。自分の好きなようにできるから。

女性

先生(医師)に見放された気がして、どうせ治らないんだと思うとつらくて・・・

電話では言葉が出なくて、話がそれそうで、話をする自信がない。

70代 女性

認知症があってもなくても、私は私。毎日楽しく生きていきたい。

自分が食事作りに自信がないから人に食べてもらうのも作るのも嫌。

70代 女

自分は認知症だと親しい人には伝えているんだけど、この間、会った時に普通に話をしてくれたのがうれしかった。

女性